

|       |      |     |   |              |       |
|-------|------|-----|---|--------------|-------|
| 科目    | 課題研究 | 単位数 | 1 | 履修学年・クラス(講座) | 1年商業科 |
| 使用教科書 | なし   |     |   |              |       |
| 補助教材等 | なし   |     |   |              |       |

### 1 学習の到達目標

ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおりに育成することを目指す。

- (1) 実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
- (2) ビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2 学習方法等(授業担当者からのメッセージ)

- 日ごろから新聞やニュースなどより社会へ関心をもつ。
- 教科書がない科目のため、自ら意欲的かつ積極的に取り組む姿勢が大切。
- 自分自身の将来設計に繋げるため、一つ一つの課題を自分事として捉える姿勢が必要。

### 3 学習評価

| 評価の観点         | 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|---------------|---|--|---|
| 科目ごとの評価の観点の趣旨 | ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解しているとともに、関連する知識・技術を身に付けている。 | ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。 | ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 |
| 主な評価方法        | ・ワークシート   | ・ワークシート<br>・レポート   | ・授業態度<br>・提出物   |

#### 4 学習及び評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

| 月                   | 単 元  | 時 数 | 学 習 内 容   | 評 価 規 準   |
|---------------------|--|-----|---|---|
| 4<br>5              | 1. 調べ方を学ぶ<br>2. 自分の人生に関わるお金について考える<br>1 自分か欲しいもの<br>2 結婚に関わるお金<br>3 子どもを育てるお金<br>4 老後にかかるお金                          | 8   | 課題研究に取り組むにあたり必要な「調べる」ことを学ぶ。<br>自分が生涯関わるお金の事について調べる。   | ・自分が将来関わるお金について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。<br>・調査内容を自分事と捉えて取り組もうとする姿勢が見られる。        |
| 6<br>7<br>8         | 3. 企業を知る<br>1 あこがれる職業を一つ選ぶ<br>2 「その職業に就くメリット・デメリット」<br>3 今後雇用が厳しくなることが予想される職業を明らかにする<br>4 通勤1時間以内でクラスの仲間に勧めたい企業を見つける | 10  | 「年収分布」「働ける期間」など現実に即した調べを行う。<br>あこがれる職業のメリットデメリットを調べる。<br><br>企業の趨勢を調べる<br><br>優良企業について調べる   | ・自分が将来関わる仕事について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。<br>・調査内容を自分事と捉えて取り組もうとする姿勢が見られる。        |
| 9<br>10<br>11<br>12 | 4. 学校を知る<br>1 進学すべき学校はどこか<br><br>5. 起業を考える   | 10  | 大学・専門学校のパンフレットを元に「得られる資格」「企業との連携した教育方法」の2点から整理し、調べる。<br>「ロボットや人工知能ではできない同時性の高い技術や商品」を考える。<br>日本文化を活かして海外で活躍できる未来の職業を見つける。<br>起業家について調べ、起業することの意義を調べる。 | ・自分が将来関わる可能性がある学校について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。<br>・調査内容を自分事と捉えて取り組もうとする姿勢が見られる。  |
| 1<br>2              | まとめ<br>課題研究発表会   | 12  | これまで調べ、まとめてきたことを踏まえて、自分が考える進路や社会貢献、あるいはこれからの社会の在り方をまとめ、発表する。  | ・調べたことをベースに、自分が描く将来を自分事として明らかにしようとする姿勢が見られる。<br>・発表が論理的で聴講者を説得・納得させるものになっている。 |